

(様式1)

自己評価票

作成日 平成25年1月31日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873400378		
法人名	有限会社 凜成		
事業所名	グループホーム ひだまりの家	ユニット名	2階
所在地	〒313-0106 茨城県常陸太田市下利員町1086-1		
自己評価作成日	平成25年1月31日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

医療面の充実。看護師の連携がよくなされており、毎日の充実したケアが行われている。・畑で野菜を作っている。・日常の生活レクリエーションを大事にしている。・一人一人に合わせたケアを行っている。・季節の行事は必ず行い、スタッフがなるだけ手作りで工夫を凝らしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義を踏まえ、ひだまりの家独自の理念を作成し、毎朝朝礼の際に唱和をして実践に繋げています。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の夏祭りや運動会に参加しています。また、当所の納涼祭では、地域の方にもお声かけし交流できるよう努めています。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	推進会議で現状報告をし、その説明をしながら地域の方々に認知症への理解を求めている。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では毎回、行事の報告、現在の入居状況等を報告し、そこで出た意見は日頃のサービスに活かしている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議や電話等で状況を知って頂き、特に空床があるときや、生活保護者の状況、相談、アドバイスを頂きながら担当者と連絡を密にし、協力体制を築いています。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ご自分の体を傷つけてしまう（無意識）方がいるので、常時ではないが安全の為、ミトン装着する事がある。階段の柵は1Fスタッフと協力しているので、今はほとんど施錠しておりません。また、当所の勉強会においても身体拘束をしないケアを取り入れ職員一同理解を深め、資質の向上に努めています。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についても勉強会やミーティングの中で虐待についての話し合いを持ち、職員間で意識を高め防止に努めています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今後、研修等で学ぶ機会を持ち、必要に応じて支援していきます。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面を以て説明を行い、不安、疑問点があればその都度尋ね納得されるまで十分に説明して納得して頂いた上で契約に至っています。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置しているとともに、面会時などいつでも、意見、要望が話せるような雰囲気を作り、意見・要望等があったときはミーティングを開き、その都度対応しています。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングで意見交換をしています。また、常日頃からいつでも聞ける体制をとり、そこで出た意見を管理者会議にて代表に伝え運営に反映するようにしています。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務希望をとり各々にあった勤務状況になるように努め、得意・不得意分野を見極め職員同士がお互いに補い合えるように、環境・条件の整備に努めています。毎年、年間の勤務実績を踏まえ、各表彰を行っています。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内で毎月研修会を開いたり、県や市その他の法人等の研修会に参加することで、個々の質の向上を図っています。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	研修等で同業者と交流を持ち、情報交換をしながら、サービスの向上、質の向上に努めています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	常に本人の話を傾聴するように心がけています。不安がある時や困っている事がある時は本人に寄り添い安心して頂けるような関係づくりに努めています。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の話・要望に沿えるように、職員は心に余裕を持ち、いつでも話を聞ける環境をつくり、信頼関係を作っています。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話を聞いた上でその時々にあった支援を見極め、満足して頂けるように努めています。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者のペースに合わせて、ホーム全体が家族のような関係を作れるよう、日々努力をしています。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が来所された時などは、本人と家族だけの時間を持って頂き家族の絆を大切にしています。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人の面会・外出はいつでも歓迎し支援しています。昔よく行った場所等、会話の中で聞くようにし、関係が途切れない様に支援していきます。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆で出来ることを常に考え、出来ること・出来ないこと、またご利用者の関係を把握しその中で不具合が生じた時は、職員が間に入り孤立しないよう支援しています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、家族やご利用者様の希望があれば、相談や支援をしています。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	話を聞き相談しながら出来るだけ、本人の意向に沿えるよう支援しています。また、意思疎通が困難な時は、その方の性格・生活歴・家族からの情報を基に、本人の意向に沿うように支援しています。思いや訴えがあった時は経過記録に記入するようにしている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者情報や家族からの情報これまでのサービス利用の経過等を職員全員が把握出来るように努めています。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者様の状態に合わせ、その人に合った一日を過ごせるように支援しています。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族から話を聞き、職員間で話し合い看護師からも意見をもらい、その人に合ったケアプランを作成しています。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアを経過記録に記入し、職員間で情報を共有し、改善点や実践に繋がった結果を、今後の介護計画の見直しに活かしています。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院の送迎や買い物の同行等、正月には花あかりの家の方へ年賀状代わりに手紙を書いたり、サービスの多機能化に取り組んでいます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご利用者様とドライブや買い物に出掛けたりまた、病院受診の帰りに外食したり、外出が出来ない方もいるので、所内で買い物が味わえるような工夫もしています。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を充分に取り入れた上で、適切な医療が受けられるように支援しています。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は日頃からご利用者様の心身状態を敏感に捉え変化のある時は、すぐに施設看護師に伝え相談指示を仰いでいる。看護師不在時はデイサービスの看護師にも協力していただいています。いつでも連絡の取れる体制を整えています。看護師間でも常に連絡を取り合い適切な受診・看護を受けられるように支援しています。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時、主に看護職員が家族や病院と連携を計り、施設長・管理者も交え情報を共有し、情報交換や相談に努め病院関係者との関係を築いています。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	今後の終末期に向けた施設の在り方を現在作成しています。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	所内の研修や他研修に於いてAEDの講習や、消防訓練、救命処置等の訓練・研修を定期的に行っています。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練・通報訓練を定期的に行っています。夜間を想定した訓練も行い災害対策に取り組んでいます。地域との協力が得られるように区長さんや関係者の方と協議を進め始めています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方の人格・誇り・プライバシーを損ねないように言葉かけにも気を付けています。また当たり前の事ですが、トイレ使用時やオムツ交換時も他者に見えないようにしています。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いや希望を表現できる方は、自己決定して頂いています。表現が困難な方は、その時の様子やしぐさを良く観察し自己決定出来る様、あるいは思いや希望に出来るだけ沿うよう理解し支援しています。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の希望や要望を聞き、その方にあったペースや状態を把握した上で希望に沿うよう支援しています。また、今までの生活歴を把握しその人らしい暮らしが出来る様支援していきます。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	特に気を配っています。汚れた時はすぐに着替えるようにしています。気温の変化等にも配慮し、衣類の調節のアドバイスもしながら支援しています。洗面所には高さを変えて鏡も設置しています。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お一人お一人の好みを把握し、五感でも楽しめるように声掛けをしながら職員も一緒に食事をしています。食後も出来る方には食器拭きやテーブル拭き等も職員と行っています。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各々の食事量、水分量を把握しています。その上で摂取量の少ない方には、嗜好品や補助食品等で確保し、その都度、状態に応じて対応しています。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けをし、自力が困難な方は職員が施行しています。歯科医にも往診して頂き必要な方には治療や口腔ケアをして頂いています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のサインを見落とさず、その方のパターンを把握し、声掛けを行っています。排泄チェック表も活用しています。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を活用し毎日の排便確認を行い便秘の方は、看護師の指示のもと個別に応じた予防に取り組んでいます。又、食事やおやつに繊維食物を取り入れたりしています。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	個々の希望やタイミングに合わせて入浴して頂くのが理想だが職員不足により希望に沿えない事もある。が、なるべく希望に沿えるように努めています。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方に応じて昼寝をしたり、気温の変化に応じてエアコン・湯たんぼ等を使用し気持ちよく休息、安眠できるよう支援しています。また、就寝時不安や心配で入眠出来ないときは声掛けに注意して安心して頂けるよう支援しています。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の変更時は連絡帳にて送付を徹底しています。またミーティングや朝礼時に症状の変化の確認や注意点について、看護師から説明をもらっています。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日食事後に食器拭き、洗濯干し・たたみ等して頂いています。編み物や塗り絵・季節にあった作品作り等も皆で行っています。作り上げた作品の前で写真を撮ったりと楽しみを思い出にもなるように支援しています。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族との外出・外泊は希望があればいつでも受け入れています。その他買い物等も職員と出掛けたりと支援しています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	ご自分で管理できる方は所持しています。
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	ほとんど希望は聞かれないが希望がある時は支援しています。個人で携帯電話を持っている方もいます。
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	季節に合わせた飾り付けや、個人の作品等も展示するようにしています。収集癖のある方がいるので色々な物は置けないのですが、洗面所には造花ですが花を飾り、トイレにはポプリのリースを飾り癒しの空間を持ち居心地よく過ごせるように心がけています。
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	畳敷きの場所にこたつを設置しています。
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	本人や家族と相談し、馴染みの物や写真、アルバムなどを居室に置き、居心地の良い環境作りに努めています。
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	各所には手すりを設け、各室のドアの色も違いを持たせたり出来るだけ自立した生活が送れるように工夫しています。

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない